令和５年８月６日執行

戸沢村議会議員選挙公報

戸沢村選挙管理委員会

阿部しうき

日頃より、ご指導いただき厚く御礼を申し上げます。

令和元年8月の村議会議員選挙にて、43歳での初当選から1期目4年間、未熟ながら村政発展に向け活動や、1人1人の声を村に届けるために、全力で取り組んで参りました。叶わぬ要望もありましたが、ご支援いただき誠にありがとうございました。

この4年間は、新型コロナウイルス感染症に伴う問題やロシアのウクライナ侵攻を起因とする問題が多数あり、この小さな村に暮らす私たちの生活にも大きな影響をもたらしました。この厳しい問題にも負けない戸沢村をつくらなければと痛感した年でもありました。

以前から危惧されていた少子高齢化、子供達のためにも高齢者のためにもこの時代にあった住民サービスの維持や充実を、積極的に改革への挑戦と、柔軟な対応をしていかなければなりません。

戸沢村の財政力の問題もありますが、1人1人の声を聞きながら、1つ1つの問題を解決出来る様に、地道に、スピード感をもち、全力で邁進して参りますので、今後とも変わらぬご指導のほど、宜しくお願い申し上げます。

加藤臣一

英知を結集して新しい戸沢村を作ろう

村民のみなさん、村の将来像を描き目標を持って豊で楽しい毎日を過ごしておりますか？

ここ2・30年の間に戸沢村は少しづつでも前進してきたんでしょうか？　人口は大きく減少し、農業出荷額をはじめ工業出荷額も大幅に落ち込んでおり、また小売店は大型店舗に飲み込まれ、店舗はほとんどなくなりました。このままでは村は衰退し、何百年と先祖から受け継いできた田畑や家屋敷はなくなってしまいます。

村づくりは人づくりです。村会議員も一生懸命勉強して村民の付託に応えられるように努力する事は当然の事です。

「親戚縁者の多い人が議員になれる」確かにそうかもしれませんがそのときは、村民のために役に立つ気概を持った人を出して欲しいものです。でないと村の衰退は止まりません。

しかし、戸沢村は本当にこのままで良いのでしょうか、村民のみなさま方のなかにも**「今のままではいかん、子孫のためにも何かしら行動を起さなければならない」**と真剣に案じられている人がおられると思います。

この停滞を続ける戸沢村を変えるには現在を直視し、若者を中心に問題意識を持っている人の英知を結集して、新しい村の将来像を描き、夢の持てる戸沢村を作ることだと思います。

私は**これを実現するために、問題意識を持っている人の英知と村づくりのコンダクターとしての学識経験者をも含めた村づくり村民会議の設置**を強く提案したいと思います。

私は議員としてその重責を誠実に果たす決意であります。

みなさまの厚いご声援をお願いいたします。

荒川和明（あらかわかずあき）

昭和三十四年二月七日生まれ
新庄工業高等学校　土木科　卒業
現在　戸沢村議会文教委員
戸沢村土地改良区理事
戸沢村青少年委員

誠実・実直・実行
をモットーにがんばります！
よろしくお願いいたします

◇子育て支援の充実
◇皆さんが生きがいを持てる地域づくり
◇地元企業の支援と村外企業の誘致
◇農作物の戸沢産ブランド化による販売促進
◇地域の思いを村政に届ける役割

おかだ孝一（こういち）

略歴
- 山形県立新庄北高等学校　卒業
- 東北測量専門学校　卒業
- 元　神田小学校・戸沢中学校ＰＴＡ会長
- 元　戸沢村土地改良区事務局長
- 現　戸沢村議会議員　三期
- 現　最上広域市町村圏事務組合議員
- 現　戸沢村議会議長
- 現　県町村議長会監事

活力と愛着を
実感できる村に！

～おかだ孝一が掲げる政策の柱～

- 地域の支え合いと交通弱者を守る村づくり
- 教育行政の充実と、福祉・子育て支援の村づくり
- 農業と観光の連携で村民が躍動する村づくり
- 集落機能の維持を強化する村づくり

柿崎ひでや（かきざき）

略歴
- 元　村議会前期総務文教委員会委員長
- 元　高校生親の会会長
- 現　後期、産業建設常任委員会委員長
- 現　最上広域連合保険組合議員
- 元　戸沢村建設職工組合長
- 元　新庄最上建設総合組合戸沢支部長
- 現　ぽんぽ館取締役
- 現　北部商工会工業部会戸沢支部会長
- 現　ボランティアサークル戸沢代表
- 現　青パト防犯委員

昭和三十三年　濁沢に生まれ向名高育ち　六十四才
十六才～十九才迄東京在住　都立北部島工業高校卒業

聞く　動く　拓く！
老後の安心と
子供たちの未来のために！

村民、行政、議会が一体となり
少子高齢化に取り組む村づくりの実現

人口減少対策
- 定住住宅の促進を図り、村外からの移住対策
- 観光資源を活かし交流人口の促進
- 農業振興と商工業の増進を図り、雇用を生み出す
- 少子高齢化社会だからこそ、ひとり一人の能力を生かし、いきいき暮らせる地域づくり

子育て教育支援
- 子育て支援の出来る住環境整備をめざします
- 生涯学習センターを利用し、教育の増進を図ます
- 一味違う子育て、教育支援を提言していきます

災害に強い村づくり
- 東日本震災や戸沢の豪雨災害で学んだつながりを大切に、自助、共助、公助の連携強化を支援します
- ハザードマップを有効利用し、災害に備える準備の強化を図るよう行政に提言していきます

加藤まさかず

昭和26年3月6日生

主な経歴
- 昭和44年3月　酒田南高等学校卒業
- 昭和46年3月　酒田経済短期大学卒業
- 昭和46年7月　鼠ヶ関郵便局に採用、古口郵便局、清水郵便局、金山郵便局を経て肘折郵便局で退職
- 平成23年3月　戸沢村議会議員（現在2期目）
- 平成28年9月　戸沢村議会選出監査委員
- 令和2年9月

村民目線で村づくり
あなたの声を村政に

加藤まさかずに対するこれまでのご支援に心から感謝申し上げます。

皆さまからのあたたかいご指導とご支援に支えられ、議員を２期務めさせていただきました。３期目に向け、更なるご指導とご支援を皆さまから賜り、以下の活動方針で村の課題解決に向け取り組んで行きます。

加藤まさかずの活動方針
- ◎平和と民主主義を守る
- ◎活力ある地域づくり
- ◎将来を担う人づくり
- ◎地域経済の活性化
- ◎持続可能な農業基盤の確立

共存共栄の村づくり

我が国は人口減少が続く中、少子高齢化が一段と深刻化することが予想されています。人口減少・少子高齢化は、生産・消費活動の縮小による地域経済の低迷、雇用環境の悪化、税収の減少、社会保障の増加による公共財政の逼迫、地域コミュニティの崩壊など、地域経済や住民の生活に様々な影響を与えることが考えられます。私たちの住む戸沢村においても例外ではなく、人口減少・少子高齢化を起因とする課題が山積し一刻の猶予もならない状況にあります。これら現実を直視し、課題を先送りせず、これからの新時代を切り拓き、夢と希望の持てる「戸沢村」に変えていくべき時、それが「今」です。この地に生まれ、この地で育ち、この地を愛する全ての人が、生涯安心して暮らし続けていくために、自助・共助・公助の橋渡しを担い、共に支え合い、共に栄える戸沢村を目指した政策の実現に皆さまと共に全力を尽くし、誠実に取り組みます。

安心して暮らせる村づくり

○ 防災機能・体制の強化
○ 公共交通体系の見直し
○ 雪対策・支援の充実

活力ある豊かな村づくり

○ 持続可能な農林業の振興
○ 観光と交流の促進による関係人口拡大
○ 商工業の振興

健康で笑顔溢れる元気な村づくり

○ 子育て支援・教育環境の充実
○ 地域福祉の充実
○ 健康づくり・検診体制の充実

愛する戸沢村で生涯安心して暮らし続けるために

時代を創り　次代へ繋ぐ

安食（あじき）　勇（いさみ）

昭和四十七年六月十六日生
戸沢村角川滝ノ下出身／酒田南高等学校　卒業
（略歴）新庄市の老舗眼科に勤務し、令和二年十一月に閉院するまでの間、検査業務全般・診療補助等、医療現場に長年従事。令和三年四月～令和四年十二月まで、戸沢村会計年度任用職員として新型コロナワクチン接種関係業務に従事。令和五年二月戸沢村議会議員補欠議員選挙にて初当選
現　戸沢村議会議員一期目（産業建設常任委員）
現　角川元気プロジェクト　顧問（元、代表）

政策

住民共栄による元気な村づくり

◎安心して暮らせる地域包括システムの構築を図ります。
◎基幹産業の農業振興に力を入れます。
◎教育の充実と子育て支援を推進します。
◎現役世代の皆様の健康を守り、健康寿命を延ばし、高齢者の活躍できる村づくり。
◎畜産クラスター事業を基軸とした地域活性化を図ります。

次世代を拓く責任世代

小野（おの）　ひろし

昭和三十年一月六日生
元、神田小学校・戸沢中学校　PTA会長
元、新庄東高等学校　PTA会長
元、戸沢村農業委員
前　副議長
現　議会運営委員長　戸沢村議会議員3期
現　戸沢村土地改良区副理事長
現　新庄東高等学校理事
現　野口保全隊会長

・安心　・安全　・活力

◎安心・安全な、心ゆたかな村づくり

- 災害に備えた防災の強化と備蓄物資の強化
- 子育て支援の充実、高齢者介護予防の推進

◎生活基盤の充実を図り、活力ある村づくり

- 農林業の担い手育成、地域企業の支援
- 地域を生かした観光・商工業の振興をはかり、村外からの誘客推進

◎教育の充実・観光資源の活用

- 教育環境をととのえ、心ゆたかな人材育成の推進
- 地域の文化交流とスポーツの振興
- 観光客の誘致を図り、交流人口の拡大

伊藤（いとう）はじめ

【昭和二十七年八月三十一日生】

略歴
現　総務文教常任委員会　委員長
現　最上広域市町村圏事務組合　議会議員
現　防災士
前　戸沢村消防団団長
前　戸沢村防犯協会副会長

贈らない
求めない
受けとらない

郷土を愛し、次世代を担う!!

1 安心して出産、子育て、教育ができる村づくり

◎出産時の負担軽減として、出産お祝金30万円の支給を目指します
◎教育の場周辺の環境整備として、母なる川“最上川”を望める場を目指します

2 元気な村づくり

◎各種のイベントを企画し、人と人の交流や出会いの場をつくります
◎県内各種フェアへの戸沢産品の積極的な出店
◎田んぼアート、かかしコンクール等の開催

3 やりがいのある農業

◎農業機械購入支援助成金の設立
◎意欲ある農業者へ空ハウスや遊休耕地を斡旋する仕組みを構築（農地のフル活用）

荒木（あらき）まこと

昭和46年（1971年）生まれ　52歳

プロフィール
- 山形県指導農業士
- 戸沢村青少年育成村民会議幹事
- 戸沢村消防団本部指導員
- 戸沢村園芸生産組合代表
- 戸沢村芸生産組合ミニトマト部会代表
- 旧戸沢中学校PTA教育後援会長
- 旧神田小学校PTA会長
- 新庄農業高校卒

◎投票日時　8月6日（日）　午前7時～午後7時
◎選 挙 会　8月6日（日）　午後8時から

（開 票）戸 沢 村 役 場